

研究拠点の動き

- 2018年 9月 25日 第24回拠点運営会議を開催しました。
- 2018年 9月 26日 第67回バイオマスイブニングセミナーを共催しました。
- 2018年 9月 27日 第8回シンポジウム「瀬戸内海を宝の海に～CREST最終報告とこれからの展開～」を共催しました。
- 2018年 9月 28日 広島大学工学部第一類発足記念シンポジウムを共催しました。

アジアバイオマス科学会議を開催しました

2018年7月31日、インドネシアのボゴールで開催された第6回アジアバイオマス科学会議(ACBS2018b)を共催しました。会場は、ボゴール農科大学のIPB国際会議センターで、参加者は80名程度で、アジアのバイオマスについて議論を深めました。今回はインドネシアでの開催でしたので、インドネシアから多くの参加を得、パーム油関連の発表も多くなされました。また、この会議に続けて8月1、2日に第3回国際バイオマス会議(ICB3)が同じくボゴールで開催され、こちらも共催しました。ボゴール農科大学の Erliza Hambali先生、Obie Farobie先生には現地の運営に関して大変お世話になりました。



研究拠点関係者紹介

水雲 智信

リサーチ・アドミニストレーター
(URA)

広島大学 学術室研究企画室

研究分野：研究大学

研究キーワード：研究拠点支援



研究概要

2018年8月から広島大学 学術室研究企画室にリサーチ・アドミニストレーター（URA）として着任し、エネルギー超高度利用研究拠点の担当となりました。拠点の皆様と連携し研究の発展に少しでもお力添えできればと思っています。「研究概要」スペースですが、研究職ではないので、ここでは研究企画室、URA、私のバックグラウンドについて記したいと思います。

研究企画室、URA

2013年文科省の研究大学(RU) 事業に採択されたことを受け、広島大学では研究担当理事が監督する学術室のもとに研究企画室を設置しました。広島大学は5つの強化方針（①研究支援体制強化、②国際的研究拠点形成、③人材力強化、④国際共同研究推進、⑤産学・社会連携推進）を掲げ、そのための推進メンバーとして研究企画室に各種研究・技術キャリアを持つURAを配置し、育成しています。私は工学系（特に化学・電気化学）の研究経験を持つ学術系URAとして、工学系の外部資金獲得支援、研究拠点運営支援などを行いはじめたところです。工学研究科の3つの拠点のほか、研究費獲得を目指す教員の支援を行っています。工学研究科は機械・情報・生物・化学とカバーしなければならないことが多く、適切な支援を行えるようになるべく日々勉強しています。

私のバックグラウンド

URAとして着任する直前までは研究者でした。エネルギーに関連する有機材料の研究を行ってきたので、このたびエネルギー超高度利用研究拠点の担当になったことにはご縁を感じています。

直前はサムスン日本研究所で、韓国本社やサムスン技術院（中央研究所に相当）と連携してリチウムイオン二次電池用材料開発を行ってきました。大学教員時代は有機材料化学の研究を行ってきました。特に有機無機ハイブリッド材料の合成や構造制御（ポリシルセスキオキサン（POSSなど））、イオン液体、イオン伝導性高分子について研究経験があります。拠点の一員として、大学や企業での経験を活かして行ければと思っています。

経歴

- 経歴
 - 2004年 東京農工大学大学院 博士（工学）
 - 2004年 東京農工大学 産学連携研究員のち助教
 - 2009年 広島大学 助教
 - 2014年 サムスン日本研究所/サムスン技術院
 - 2018年 広島大学URA
 - （その他） フラウンホーファー研究所客員研究員
ミシガン大学客員研究員
- 受賞 高分子学会若手奨励賞 など
- 特許 Chang, 他、US Patent 9831529 など
- 論文 Kurimoto他 J Power Sources 377 12-17 など
- 趣味 自転車競技、料理、庭いじり